夕刊
いわき民報
発行所
平市田町 電381 1222
いわき民報社
編集兼印刷発行人 田原登

化學の研究發表
今日から三日間 關東北大會始る

日本化学会関東、東北支部連合地方大会は二十九日から三日間平市公会堂に開催され初日は午前九時から開かれた、出席者は東北大学名誉教授工博原龍三郎氏、東京工業大学、工博神原周氏、同大学工博星野敏夫氏ら著名人のほか遠くは九洲、関西方面から化学者、化学技術者三百名が集まり午後六時ころ迄に亘り会員の研究発表（三十二名）がそれに対する討論会が行われ会場は粛寂な裡にも真剣さがみなぎつていた

二日目、三十日も午前中は引続き研究報告（十三名）討論会が行われるがこれらの研究発表のなかには呉羽化学の研究になるカーバイトから新しい繊維糸を作る方法や品川白煉瓦では従来より良質の電気ろに使用する煉瓦の作り方、日本水素では不燃性で油にとけない優秀なビニールを作るための塩化ビニールに使う可塑剤の研究等を発表し注目された

▼二日目、三十日の日程　午前九時から研究報告、討論会を行い午後一時から日本化学会関東支部長神原周氏の開会挨拶、後援になつている平市、諸橋市長、野崎平商工会議所会頭の祝辞があつて次の特別講演会が行われ午後四時半から日本間に懇親会が開かれる主な研究発表左の通り

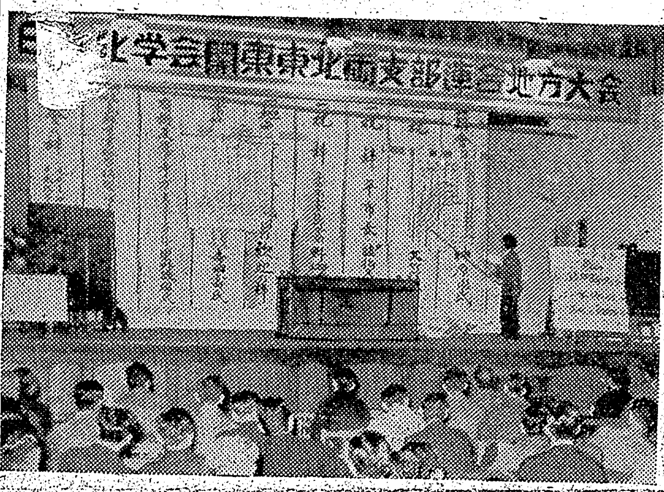
▼常磐炭田の概況　常磐炭鉱磐城鉱業所技術部長寺田寿氏

▼有機合成反応の考え方　東京工業大学教授星野敏夫博士

▼福島県産業振興の構想　県経済部長坪井寅寿氏

▼三日目、三十一日の日程　会員二百名が四班（一班五十名）に別れ▼常磐炭鉱、品川白煉瓦湯本工場、磐城セメント四倉工場▼日本水素小名浜工場、呉羽化学工業錦工場▼日立製作所多賀工場▼日本鉱業日立鉱業所をそれ〴〵工場見学を行う予定である、なお東海支部大会は十一月十日から三日間名古屋大学で開催される

（写真は研究報告を行つているところ）


日本化学会関東東北両支部連合地方大会

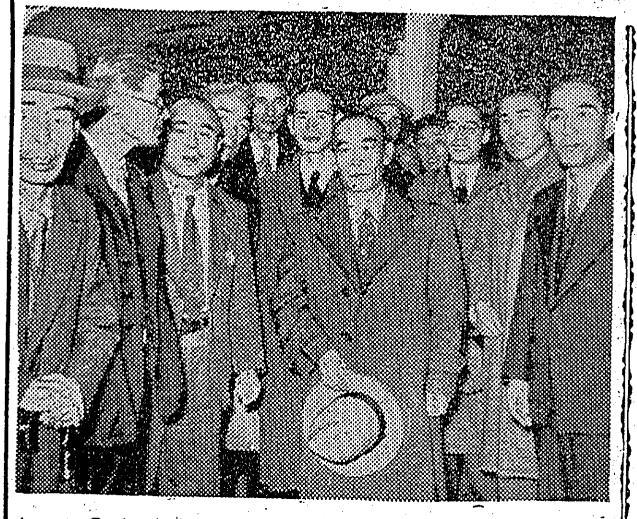
二日間の賣上 約六百萬圓
きようは雨で閉散

第九回市競輪、前節最終日二十九日はあいにくの降雨で入場者も百五十五名と少く六レースまでの売上げは六十八万七千三百円、B級実用車に千百四十円（連）の小穴があつた

初日の売上げは二百七十八万八百円、二日目は三百三十四万四千円で二日間で約六百万円、初日三千五百円、二千五百五十円二日目二千八百円の小穴や六千三百円の大穴も出た、郡山場外売場は初日二十四万三千七百円（三丁目四十四万三千八百円）二日目三十四万七千五百円（三丁目四十九万二千九百円）と漸次売上げを増し客も多い

十六名集團脱黨
日共壽炭鑛細胞

内郷町日本共産党寿鉱細胞（現水野炭鉱）新藤栄（四一）添田任光（三九）高橋寅之助（五八）長岡春義（二七）斎藤正（二四）山内富代志（二七）大滝富夫（三七）長岡和夫（三五）山内民蔵（五五）杉田金四郎（四〇）伊藤大和（二〇）斎藤一三（二〇）植竹武（二七）中田久子（二五）富田一夫（二五）添田光枝（四九）の十六名は十四日附で同町役場に脱党届を提出した、同細胞は二十一名だつたがこれで残員五名となつた



視察だんに感銘
關内代議士 歡迎講演會盛況

アメリカ視察の任務を果して帰朝した関内代議士は議会関係方面への報告を終つて廿八日午後一時三分平着急行列車で郷土に帰つた、駅頭には野崎商工会議所会頭始め百余名の多数が出迎え『御苦労様でした』との挨拶に同代議士も『お陰様で只今帰りました、大へんお世話様になりました』といつもの鄭重な調子で御礼の言葉を述べ三丁目の自宅へ久し振りでくつろいだ、廿九日午後一時から予定の如く市公会堂日本間で歓迎講演会を開き主催者代表平商工会議所会頭野崎満蔵氏の歓迎の辞について関内代議士壇上に立ちあちらの驚くべき発達の電通事情をくわしく述べ多数の出席者に多大の感銘を与えて講演会を終り、三時ごろから同所で歓迎宴会を開き非常に盛会であつた

（写真中央が関内代議士）

歸朝のご挨拶を録音
二日朝七時に放送

関内代議士は廿九日平放送局で『県民の皆さまへ帰朝のご挨拶』と題し十四分間の録音をとつた、二日午前七時十五分から県内向け放送する

平窪の強盗一人擧る

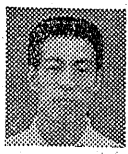
既報＝平市上平窪字牛淵農業栗原イネ次郎さん（四五）方を襲つた二人組強盗を捜査中の平市署は二十八日容疑者の一人平市中平窪生れ住居不定無職五十嵐伸雄（二三）が浦村の親戚で稲刈りを手伝つているとの聞込みを得て遠藤刑事外二名が現場に急行同夜八時半ごろ緊急逮捕した、同人は共犯者の相川某（一八）に栗原方に[illegible]現金で五万円位はあるとそゝのかされ夢中でやつたと自供している、尚相川も平市内に潜伏しているらしく逮捕は時間の問題と見られる

分離は不當
騒然審理進まず
統一派乙組公判

平事件統一派乙組第一回公判一日目は二十九日午前十時二十分から地裁平支部に山田裁判長係りで開かれた、この日出廷した被告は平子正孝ら六十二名のうち四十七被告だが日野定利、鈴木磐夫、松木佐吉の三首魁と平事件の端緒となつた掲示板の申請名儀人長江久雄被告、元磐炭労賃金部長添田計被告、元矢郷炭鉱労働組合長渡辺仙一郎被告等の大物揃いで担当弁護人は岡村（主）竹沢自由法曹団が弁護だつた、また傍聴席には現在注目されている裁判官侮辱制裁法の参考資料となすべく東京弁護士会副会長工藤精二氏がみえた、審理は指名点呼ののち前回欠席の日野被告の人定尋問から始められたが『被告らと打合せがあるから』という弁護人の申し出により二十分休廷、十時五十分再開され竹沢弁護人から裁判長に統一派を甲乙組に分離した理由の釈明を要求『被告らの生活内容上申書などの状況から分離して訴訟を進行した方が円滑に進む』と釈明、これに対して松木被告から『分離して被告の防禦権を弱め更に弁護人の活動を二分するようなものだ』と統一公判を望めは阿久津被告も統一公判と毎月一回の公判を要求するや被告席から発言を求めて連呼で騒然となり矢代被告は極度にこう奮した口調で統一公判を要求、また池田被告も『裁判長の訴訟指揮が下手だから分離したのではないかと疑つている』とアジれば鈴木（磐）被告は珍らしく静かな口調で統一公判を要求、また他の被告らも口々に分離を非難した、かくて審理は全然進まないままに正午休廷となつた午後一時再開された

サンマまたも十万貫

小名浜町魚市場では連日のサンマの水揚げで活気を呈しているが二十八日には約十万貫を水揚げした一貫当り価格は高値七十一円から安値四十五円まで暴落を見せていたが二十九日朝には八十円にハネ上つている、同朝は地元船第三香取丸、第五瑞宝丸、大定丸、第五天栄丸の各船などが約五万貫を水揚げした



南部君優勝
國體重量擧

広島市一円で開催中の第六回国体重量挙競技に出場中の本県代表南部良雄選手（元いわき民報社員）は第二日目の二十八日フライ級決勝で二二七・五キ（プレス六五、スナッチ七二五、ジャーク九〇）を挙げ優勝した（写真は南部選手）

平水道委會
あす開く

平市水道委員会は三十日午前十時から市委員会室に開き、市の上水道状況を調査した原研究所原吉男氏の専門的な報告に基き、種々協議する

サンマ船が沖合で故障
石巻へ曳航

小名浜町定西高木嘉一郎さん所有サンマ船第二嘉宝丸＝三五トン、船長五十嵐房吉さん以下乗組員十八名＝は釜石から小名浜へ向う途中二十七日午後十時ごろ岩手県とど崎東南東八十マイル附近でスクリユーを落し遭難したが、二十八日午後四時ごろ四倉港所属第二金比羅丸が発見、石巻港へ向け曳航した、一方塩釜海上保安部巡視船『かもめ』も救助のため現場へ急航した、なお遭難船の船体人命には異常ないもよう

落盤で重傷

二十八日午前九時ごろ常磐炭鉱住吉本坑第二本線で枠入れ作業中の支柱夫安田力（二九）は落盤の下敷となり左肋骨骨折など全治二カ月の重傷を負つた

志村判事　去月十七日山形家裁に転任した前地裁平支部長志村守義判事は二十八日午後、脳出血のため山形で死去した旨二十九日平支部に連絡があつた

天気予報　二十九日

【今晩】北よりの風はじめ曇で小雨パラつく事あるが後晴となる【明日】北よりの風曇時々晴の天気遅くなつて一時小雨もよう

移轉お知らせ

永らくいわき民報社の構内に住居していましたが、このたび元の住所へ移転致しました。お知らせ致します。

野澤武藏
新住所 平市田町一七（紅小路）
電話176番

優等賞受領
稲万歳
福島県第[illegible]清酒品評会
道田町 電一六
古川酒造店吟釀

各種レザー卸
東京卸値提供
平市六丁目電呼485
敷島テント店

御婚禮衣裳と
衣料品の店 京呉服
江戸褄　丸帯　訪問着
絵羽織　御召　錦紗小紋
名古屋帯　縫取　錦紗友禅
七五三用品特賣中
かみや
平二 電256

パーマ技術者
パーマ見習生
理容見習生
募集
平局横丁角
直龍軒

街の話題
あきないの眞理

A氏『最近平の商店はとても競争がはげしくなつて僕等は安いものが買えて大助かりだよ、しかも平の商人は今どんな気持で商売しているんだろうね』

B氏『君　戦時中公益優先という言葉があつたが正に奉仕優先と云う所だろうね、現在の平の商店の動きは営利主義を否定して奉仕第一主義を提唱しているそうだよ』

A氏『なるほどね、そこで僕等消費者の利益が認められるわけだね、平は発展するね』

B氏『ギヴ・アンド・テイクと云う所だろうね』

特選
袖ノ下
東京日本橋
日吉代理店
マルサ
平銀座・電二七一

家具と漆器
大特賣中
實用毛糸
一ポンド二五〇円より
各種入荷しました
あるが
平市銀座通 電223

月末セール
特價賣場新設
心地よく
はけて丈夫な
ヤマスたび
◆色別珍極上200円を150円
◆色別珍上等　135円より
◆その他大人もの50円から山積
川又
平白銀町
電523

學校不寝番制町會へ

湯本の學校防火槽近く着工

湯本町文教委員会は二十六日午前九時から開き町内小中学校防火施設の調査を行つた結果、湯小（五間七間深さ七尺工費四十万円）常小、常中（二間三間深さ九尺工費約六十万円）に消火バツクを施設することになり午後一時閉会、着工は十一月上旬の予定、尚学校不寝番制は町会に提案することになつた

辭令を交付

志賀團長に

小名浜町では二十九日午前十時より町長室でこの程選任された消防団長志賀要平氏に対し辞令を交付した

小名濱郵趣會を結成

小名浜郵趣会発会式は二十三日午後二時より小名浜局内で開き、規約並に世話人三名（一名は保留）庶務会計係二名を次の通り決定した、会員は現在二十名同会は老若男女を問わず自由に入会することができ例会を毎月第三土曜日開催郵楽切手の展示、交換、懇談などを実施する、なお初の切手展覧会を十一月中旬ごろ新装局舎で開く予定である

▼世話人、村上弥四郎（小名浜町本町、無職）猪股峰二（同局郵便課長）▼庶務会計係、木村寿松（同局郵便課）松原栄（同

長期の定期券に切換者が激増

國鐵運賃値上から

平駅の乗客は毎日一万三千五百余名にのぼるが内定期乗車券を所持する者が四千八百三十五人あるが国鉄運賃が十一月から値上げされるので短期定期から長期定期券に切換える人が最近非常に多くなつた—平駅、交通公社平案内所の調べによると二十五日現在六カ月契約者は通学、通勤併せて五百三十名で前月の百六十九名に比べると三百六十一名も増え三倍の率を示している、特に通学の高校生は九月百四十九名から四百六十五名に増加係員を驚かせている

公民館建設

勿來で提案

勿来町では今月末町会を招集し公民館建築に関し審議する、建築予算額は約二百万円で請負指名入札に付し年度内に着工の予定

平民生委會

平市民生委員定例協議会は二十六日午後一時から委員会室に開き生活保護支出調、お年玉郵便はがきの件など協議したが、九月中の生活保護費支出高は百六十四万七千

晩秋蠶繭の協定値決る

晩秋蚕繭協定価格協議会は二十六日午後四時片倉製糸平工場で開かれ貫目一万七百掛に協定、糸質二等、解答二等、平均価格は貫当り千六百五十円、高値は沢渡の千七百円から安値は川前の千五百円だつた、昨年晩秋繭より三割三分高で本年初秋繭より五百円高であつた

平一中の文化祭

平一中の文化祭は二十七日から開かれた、新制中学制度五周年を記念する文化祭だけに今までになく盛大で各教室では生徒作製の電気機関車の実験や女生徒作製品の即売などが行われ、また廊下に設けられたアブリ出し売り場では生徒がその場で作りながら売るといつた具合で人々の足を止め人気を呼んだ、一方PTA側でもこの時とばかり校内に売店を造り盛大な文化祭の一助をなした（写真は廊下で行われてたアブリ出し）

小名濱高文化祭

小名浜高等学校ではバザー、文化祭を二十八日午前九時三十分より同校で開く、写真展、生徒作品展農作物品評、被服手芸展、演劇、音楽、舞踊、バザー、食堂などの催しがあつた

合同文化祭

二日四倉小

石城第三方部（四倉地区）小中学校合同文化祭は十一月二日午前午後の二回に亘り四倉小に開催する、参加校は四倉小中高、大野小中、大浦小中、草野小中の九校で図画、工作、習字展示会のほか音楽、演劇舞踊発表会等が行われる

きょう送電

電力事情が急によくなつて来たので今廿九日（月曜日）の休電日は電休せず通常通り送電した

老人をなぐる

大浦村下仁井田岸揃同農業鈴木政直（三五）は去る十一日午後六時ごろ飲酒の上近所の同字農業鈴木長次郎さん（六九）に因縁を付け顔面を殴るなど暴行を働き全治一週間を負わせた疑いで二十七日平地区署から書類送検

殴り込みの二人擧る

原因は政争のもつれ

昨報＝植田地区署では二十五日夜山田村材木商村議、消防団長小野敏爾氏（五二）方に殴り込みをかけた容疑者として二十六日朝同村井上採炭夫渡辺鉄男（二三）外一名（一九）を逮捕、共犯者二名を追及している殴り込みの原因は村議補欠選挙に立候補した蛭田某が落選したのは小野氏の策謀であると蛭田某の近親者四名が酒の勢で押しかけたもので小野氏宅では内から錠をかけて侵入を防いだが表のガラス戸八枚を破られ侵入されたもので小野氏はいち早く裏口から脱出して植田地区署勿来派出所に届け出難をまぬかれた、同村は前々から小野派と他の一派が相対立しごたごたが絶えなかつたものである

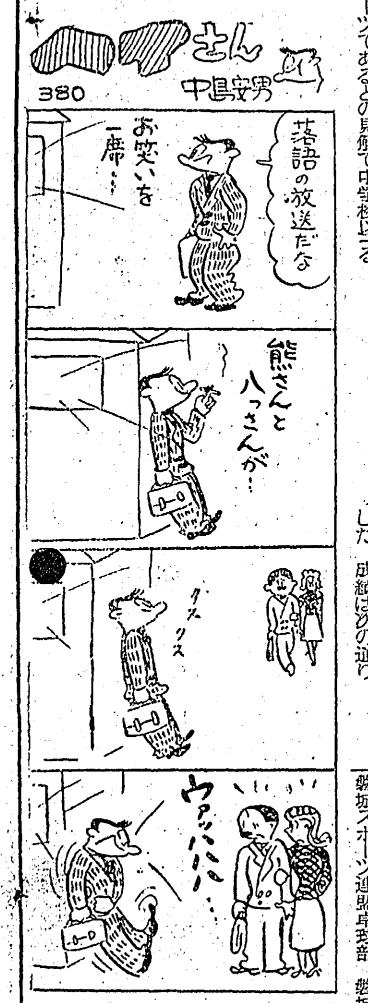
分銅盗む

赤井村赤井字浅口雑夫本田某（一九）は関根某外一名と共謀して去る三月二十七日夜同村赤井白渡地内の品川白煉瓦赤井工場（所長富永十郎氏）から捲揚機附属分銅二箇を盗んだ疑いで二十八日平地区署に捕まつた

弓道がスポーツに

學校體育に採用さる

終戦後学校体育の教材から除外されていた弓道は其の後各種の資料に基き研究した結果、民主的なスポーツであるとの見解で中学校以上の体育教材に取り上げてよいことになつた、指導法、競技方法については近く文部省から指示される


さん
380
中島安男
落語の放送だな
お笑いを一席…
熊さんと八っさんが…
クス クス
ウァッハハ…

磐女高と水素優勝

バレー選手權大會

磐城バレーボール協会主催の秋季石城地区バレーボール選手権大会は二十八日午前十時から平商高に男女高校、一般など十六チームが参加して開き男子の部では日本水素が2—1と磐高OB組を破つて優勝、女子は第一回戦に勝つた平商、四倉商、磐女の三校の間にリーグ戦が展開され磐女が二勝で優勝それぞれ田村運動具店杯を獲得した、成績は次の通り

▼男子の部（一回戦）平商2—1磐高 呉羽化学2—0石城教員組合 水素2—0四倉高（二回戦）平工2—1古河炭鉱 呉羽化学2—0磐農 日本水素2—1平FT 磐高OB2—0平商（準決勝）磐高OB2—0呉羽化学 日本水素2—0平工（決勝）日本水素2—1磐高OB

熱戦を展開

卓球大會終る

磐城スポーツ連盟卓球部、磐城地区中学校体育連盟、高体連磐城支部主催の第二回YSP杯争奪卓球大会は二十八日午前九時から平市公会堂本館に男女中学、高校並びに一般約五十チーム二百名が参加して開催、熱戦の結果男子中学は小名浜二中Aチーム、女子中学は好間中、男子高校は平工Aチーム女子高校リーグ戦で全勝の磐女、男子一般は東北電力平営業所Aチーム、女子一般は個人戦で平市堤ノ内高橋瑒子嬢がそれぞれ優勝、栄冠を獲得午後四時半盛会な幕を閉じた、成績は次の通り

▼男子中学の部（準決勝）内郷一中3—0小名浜二中B、小名浜二中A3—1好間中（決勝）小名浜二中A3—0内郷一中

▼女子中学の部（準決勝）三阪中3—0小名浜二中、好間中3—2錦中（決勝）好間中3—1三阪中

▼男子高校の部（準決勝）平工A3—0磐商C、平商3—1磐商A（決勝）平工高A3—2平商高

▼女子高校の部（リーグ戦）❶磐女全勝❷磐農一勝一敗❸小名浜女全敗

▼男子一般（準決勝）東北電力A3—0古河炭鉱 小名浜クラブ3—2常磐炭鉱A（決勝）東北電力A3—1小名浜クラブ

▼女子一般の部（個人戦）高橋瑒子（平市）2—0石山塩枝（平市四丁目）

九名が入賞

縣圖畫展に

県図画教育研究会主催の第二回児童図画展覧会は二十四日福大附属小学校で開かれ応募八百十校の中から五百点を入賞作品と決定したが、本郡関係では次の九名が入賞した

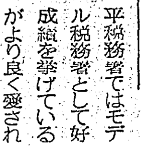
井出由美子 木村伸一郎 安齋昇 羽賀日呂美 大谷宇一 津田喜八郎（以上高坂小）山口栄子（勿来一小）七尾みを（長倉小）菅波三雄（宮小）

スリ漢送検

湯本町字傾城四の無職長谷川勇（三三）内郷町白水字広畑八四無職沼沢茂（二四）の両名は去る六日午後二時半ごろ湯本町字三函地内で平、小名浜間のトレーラーバスに乗車、豊間町字樋口七江名漁協組主事馬目誠一さん（五四）のズボンのポケツトから二万六千円入りの財布をスリ盗つた疑いで長谷川は二十六日内郷地区署から身柄送検された、沼沢は逃走中

詐取

内郷町内町字桜木二日雇江川留次郎（三二）は九月四日午後四時ごろ同町綴字一の坪無職佐藤ハマヨさん（三三）方を訪れ「残高のない預金通帳の最後の部分を破り棄てて九千余円の預金があるようにみせて千円を詐取したことがわかり二十七日内郷地区署から身柄送検された



平税務署ではモデル税務署として好成績を挙げているがより良く愛される税務署とするため二十五日から三日間、七十七銀行楼上に班長係長など二十三名を集め小貫署長が教べんをとつて監督者研修会を開き、電話の掛け方など接客態度から執務能率の向上に至るまで熱心な教育指導を行つた

ラジオ

JOCP JOTQ ローカル 平放送（30日）

後六・三〇 県政の窓『赤い羽根について』

30日より4日まで
哀れ人妻の悲劇！
本年度最高のベストセラー
原作 大岡昇平
武蔵野夫人
田中絹代
森雅之
轟夕起子
片山明彦
山村聰
監督巨匠 溝口健二
東宝
自家發電完備年中無休
ひかり座

新装開館 第一彈!!
この母に涙を！この情愛に涙を！
すべての人を感動と哀傷に泣かせる
珠玉の大作!!
新東宝超大作
月よりの母
上原謙 久慈あさみ
夏川靜江 小林桂樹（大映）
30日より
民衆劇場

通學服はあかや

ミシン界の女王
蛇の目ミシン
古い歴史 新しい機械
年産6万台
蛇ノ目産業株式会社
蛇ノ目ミシン東北販売株式会社

胃腸科 外科 泌尿器科
眞木醫院
眞木光邦
平市南町（公会堂通）
電話一一九五番

豊富な品種
☆時計 貴金屬
☆レコード 樂器
三幸
TEL 506

靴
専門店 一菊
平市三丁目電446

耳鼻科 咽喉科
高柳醫院
高柳博明
平駅前（電一一二）

打綿はハヤクきれいに!!
◎遠近を問わずお電話次第早速集配いたします
㋖スズキ
平市新川町電四三三
工場 平市正月町四三

眼科
安田醫院
平市紺屋町電一三三五
（民衆劇場斜向側）